

婚活実態調査2024

婚活サービスで結婚した人は15.3% うち、ネット系婚活が過去最高
婚活サービスで出会った人、それ以外の出会いより、恋人との満足度が高い

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート）が運営する『リクルートブライダル総研』では、婚活の実態について詳細を把握するため、「婚活実態調査2024」を実施しました。ここに、結果の要旨をご報告致します。

※調査結果全体については下記リンクよりご覧ください。

https://souken.zexy.net/research_news/konkatsu.html

調査トピックス

- 2023年婚姻者のうち、婚活サービスを通じて結婚した人の割合は15.3%。特にネット系婚活サービスを通じて結婚した人の割合は過去最高。
- 恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者の、婚活サービスの利用経験割合は26.3%。
- 婚活サービスで恋人ができた人の方が恋人ができなかった人よりも割合が高かった特徴としては、「前向きな姿勢」に関するものが上位を占め、「自己理解」「相手との価値観すり合わせ」に関するものも恋人ができた人の方が高かった。恋人ができた人とできなかった人とは、婚活に対する意識や行動に違いが見られる。
- 現在の恋人との関係に対する満足度は、婚活サービスで出会った人が71.5%、それ以外の出会いの人が65.5%と、婚活サービスで出会った人の方が高い。また、婚活サービスで恋人ができた人は、その恋人とすり合わせられている項目数が多い。「休日の過ごし方」「愛情表現の方法」など日常的な関わり方から、「子ども」「住まい」「キャリアプラン」など、長期的な視点で人生を考えるライフデザインに関わる内容まで、多岐にわたりすり合わせられている。

リクルートブライダル総研 研究員 熊谷 拓也の解説



リクルートブライダル総研
研究員
熊谷 拓也

「自己理解」「相手との価値観すり合わせ」が婚活において大切

婚姻者の約7人に1人が婚活サービスを通じて結婚しており、2024年調査ではネット系婚活サービスを利用して結婚した人の割合が過去最高値となりました。婚活サービスは長期的に伸長し、社会で一般化しつつあります。

注目したいのは、婚活サービスで出会った人は、それ以外のきっかけで出会った人よりも恋人との関係に対する満足度が高いという興味深い結果が出たことです。婚活サービスで出会った人は、日常的な過ごし方に加え、長期的な人生設計に関わるライフデザインを相手とすり合わせることができています。こうした「価値観の共有」が関係性に影響していると考えられます。

また、婚活サービスを通じて恋人ができた人の特徴として、婚活自体を「自己理解の機会」と捉えていたり、婚活の際に「相手と価値観をすり合わせる」ことを意識している傾向が見えています。相手が見つかるまでの期間を自分の価値観を理解する機会とし、その上で互いの価値観を共有していくプロセスそのものが、最適な相手を見つける上でのヒントにもなり、またその後も良い関係を続けていく上で大切な要素になっていると言えるのではないのでしょうか。

本件に関する
お問い合わせ先

株式会社リクルート 広報・渉外 コーポレートコミュニケーション室
萬石 隼斗 TEL：080-3712-9133 E-mail：hayato_mangoku@r.recruit.co.jp

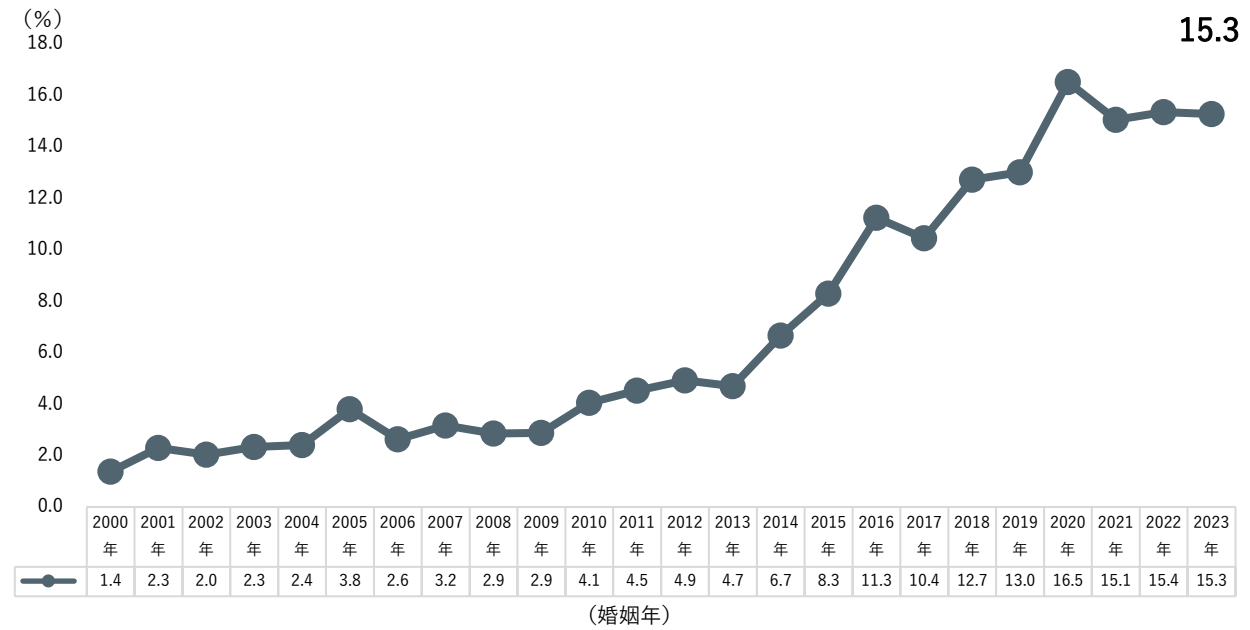
2023年婚姻者のうち、婚活サービスを通じて結婚した人の割合は15.3%。
特にネット系婚活サービスを通じて結婚した人の割合は11.4%と過去最高。

■ 婚活サービスを通じて結婚した人の割合（1次調査／各年婚姻者／各複数回答）

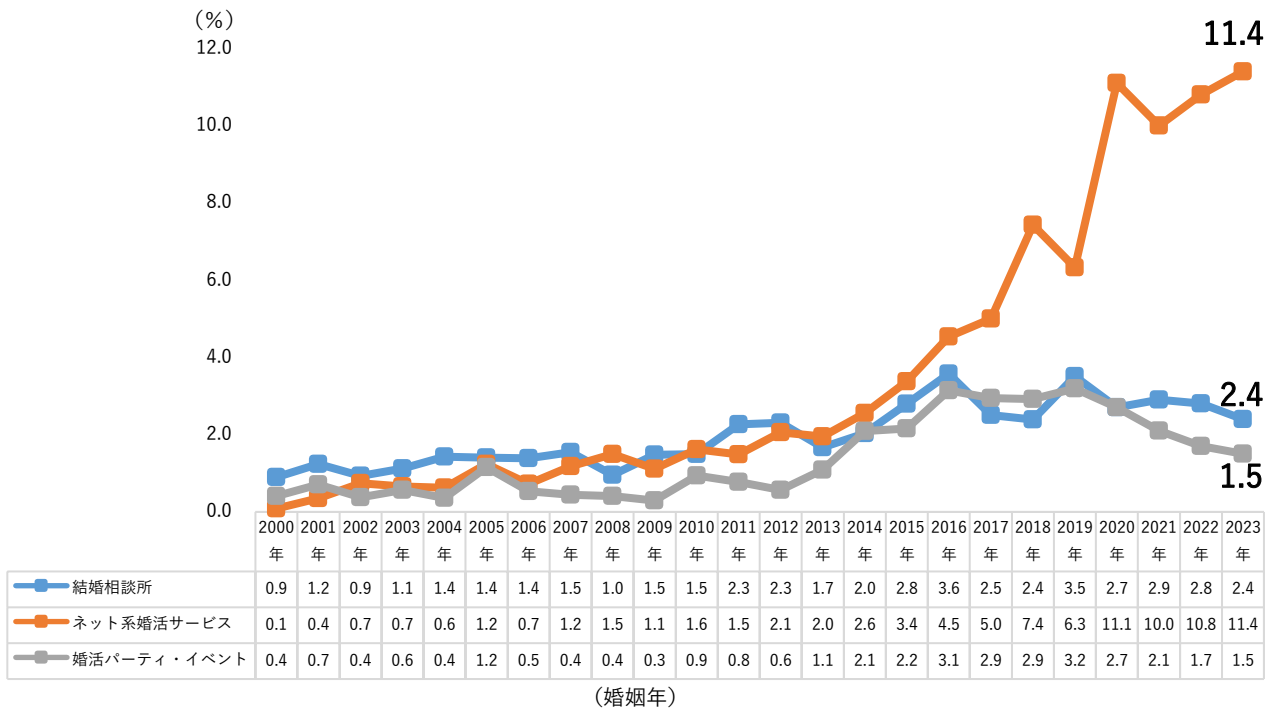
※婚活サービス：結婚相談所、ネット系婚活サービス（恋活・婚活サイト・アプリ）、婚活パーティ・イベントの3サービス

※婚活サービス（3サービス）のいずれかを利用し、そのサービスで「実際に結婚できた」と回答した人の割合

※婚姻者：初婚者および再婚者も含む



■ 各婚活サービスを通じて結婚した人の割合（1次調査／各年婚姻者／各複数回答）

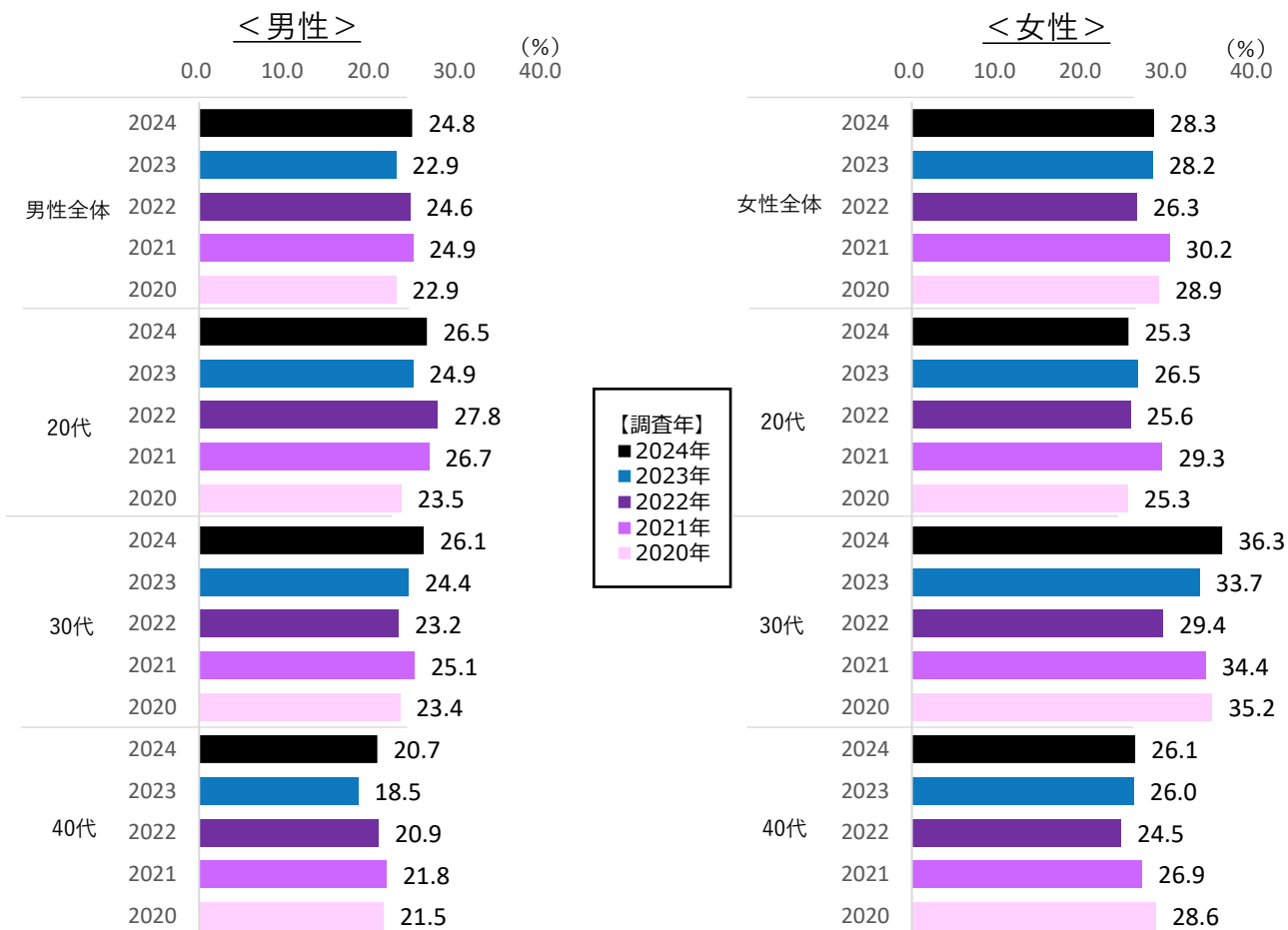
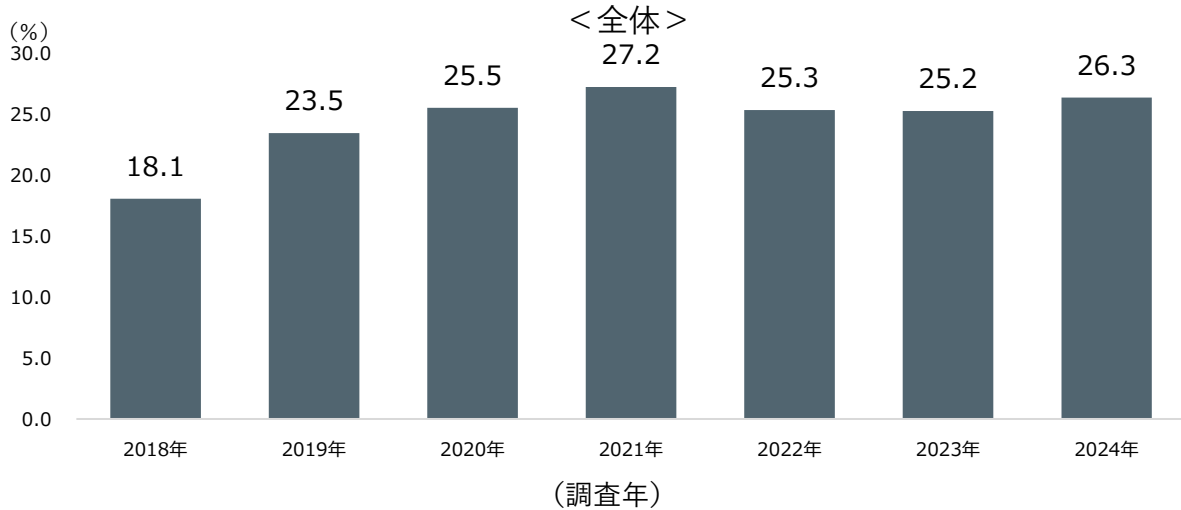


※婚姻年2015年以前のデータは「婚活実態調査2016」より。2016年以降は各年調査の結果をもとに作成

恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者の、婚活サービスの利用経験割合は26.3%。30代においては男女共に調査を開始してから最も高い割合となっている。

■ 婚活サービスの利用経験割合【全体・性年代別】（1次調査／各年の恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者／各複数回答）

※婚活サービス：結婚相談所、ネット系婚活サービス、婚活パーティ・イベントの3サービス
 ※独身者：結婚経験のない未婚者および結婚経験のある（死別・離別の）現在独身者



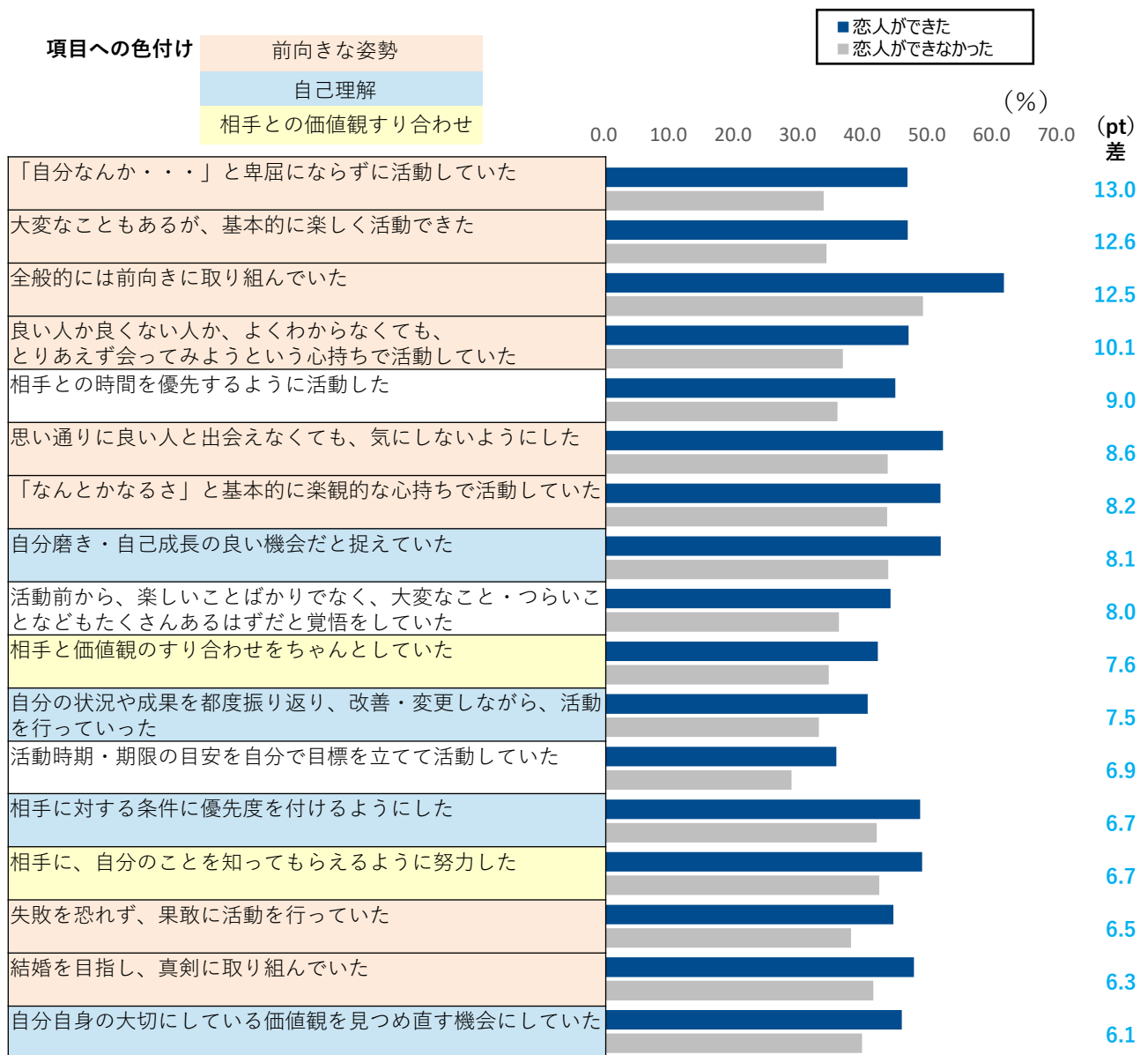
婚活サービスで恋人ができた人の方が恋人ができなかった人よりも割合が高かった特徴としては、「前向きな姿勢」に関するものが上位を占め、「自己理解」「相手との価値観すり合わせ」に関するものも恋人ができた人の方が高かった。

恋人ができた人とできなかった人では、婚活に対する意識や行動に違いが見られる。

■ 婚活への意識や行動（2次調査／恋愛もしくは結婚意向があり婚活サービス利用経験のある独身者／各単一回答）※28項目中差が6pt以上ある17項目を抜粋

※グラフの数値は、各項目について「非常にあてはまる」「ややあてはまる」「どちらともいえない」「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」の5段階で尋ねたうち、「非常にあてはまる」+「ややあてはまる」の割合

※「恋人ができた」-「恋人できなかった」の差で降順ソート

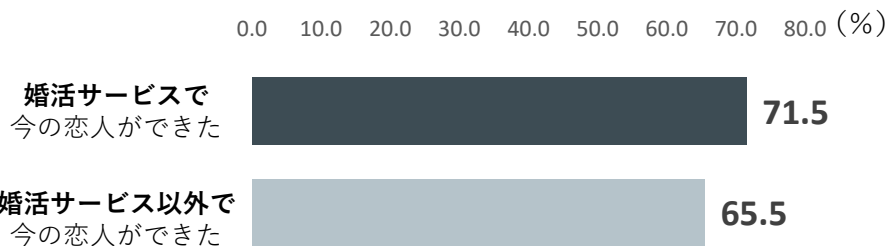


現在の恋人との関係に対する満足度は、婚活サービスで出会った人が71.5%、それ以外の出会いの人が65.5%と、婚活サービスで出会った人の方が高かった。

婚活サービスで恋人ができた人は、その恋人とすり合わせられている項目数が多く、「休日の過ごし方」「愛情表現の方法」など日常的な関わり方から、「子ども」「住まい」「キャリアプラン」など、長期的な視点で人生を考えるライフデザインに関わる内容まで、多岐にわたりすり合わせられている。

■ 今の恋人との関係に満足している割合【出会い方別】（2次調査／現在恋人がいる独身者／各単一回答）

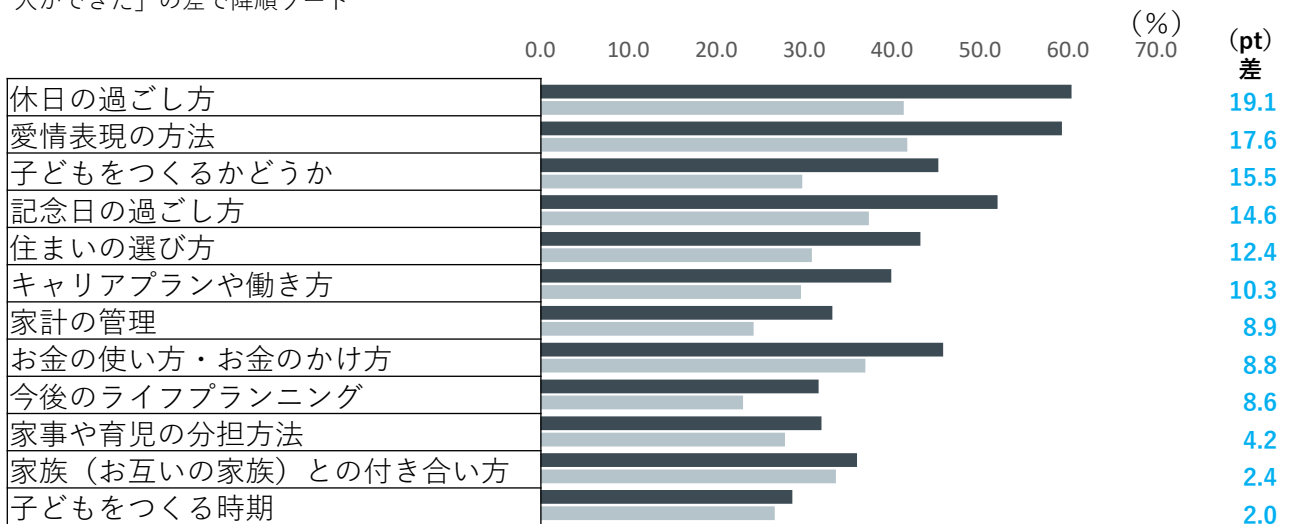
※【A】今の恋人との関係に満足している【B】今の恋人との関係に満足していないのどちらに近いかの問いで、「Aの方に近い」+「ややAの方に近い」の割合



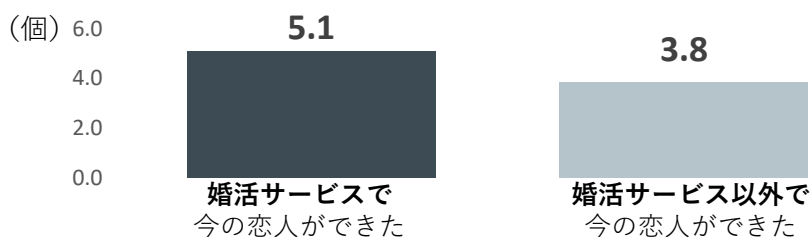
■ 今の恋人とのすり合わせ状況【出会い方別】（2次調査／現在恋人がいる独身者／各単一回答）

※グラフの数値は、各項目について「すり合わせができていない」「ややすり合わせができていない」「どちらともいえない」「あまりすり合わせができていない」「すり合わせができていない」の5段階で尋ねたうち、「すり合わせができていない」+「ややすり合わせができていない」の割合

※「婚活サービスで今の恋人ができた」-「婚活サービス以外で今の恋人ができた」の差で降順ソート



■ 今の恋人とすり合わせられている項目の個数平均（2次調査／現在恋人がいる独身者／各単一回答）※上記12項目の回答個数の平均値



■2024年調査（2023年のデータ） 1次調査

- 【調査方法】 インターネットによるアンケート調査
- 【調査期間】 2024年5月24日（金）～2024年6月4日（火）
- 【調査対象】 全国の20～49歳の男女
- 【有効サンプル数】 50,000サンプル

（調査にて120,000サンプルを回収し、その中から令和2年国勢調査結果（総務省統計局）をもとに、未既婚×性別×年代（5歳刻み）24セルの人口構成比に合わせて50,000サンプルを抽出した）

■2024年調査 2次調査

- 【調査方法】 インターネットによるアンケート調査
- 【調査期間】 2024年5月31日（金）～2024年6月10日（月）
- 【調査対象】 <共通条件>全国の20～49歳の独身者の男女

※独身者とは、結婚経験のない未婚者および結婚経験のある（死別・離別の）現在未婚者
<個別条件>

- ・現在恋人あり・婚活サービス利用経験あり
- ・現在恋人あり・婚活サービス利用経験なし
- ・現在恋人なし・婚活サービス利用経験あり
- ・現在恋人なし・婚活サービス利用経験なし・恋愛もしくは結婚意向あり

※実際の2次調査回収サンプルは、未既婚／恋人有無状況・婚活サービス利用経験有無・婚活サービス利用開始時期・婚活サービス利用意向・婚活サービスで「恋人ができた」有無・性別・年代別に102セルで割付し回収している

※今回2024年調査は2023年調査までとは2次調査の条件・サンプル構成が異なる

- 【有効サンプル数】 2,353サンプル

2次調査では、集計の際に実際の人口構成（令和2年国勢調査結果（総務省統計局））に合わせるために、サンプルに重み付けを行った（ウェイトバック集計）

ウェイトバックに使用した補正値は、1次調査を用いて各セルの出現率をもとに算出した

<2次調査回収サンプル構成>

未婚																							
恋人あり												恋人なし											
婚活サービス利用経験あり						婚活サービス利用経験なし						婚活サービス利用経験あり						婚活サービス利用経験なしかつ、恋愛もしくは結婚意向あり					
男性			女性			男性			女性			男性			女性			男性			女性		
20代	30代	40代	20代	30代	40代	20代	30代	40代	20代	30代	40代	20代	30代	40代	20代	30代	40代	20代	30代	40代	20代	30代	40代
96	96	95	96	96	96	24	21	27	24	24	24	203	189	187	214	190	177	79	79	79	79	79	79



<ウェイトバック補正後の2次調査サンプル構成(全体構成比)>

68	24	12	72	27	17	173	65	60	231	70	73	111	54	46	81	53	44	278	155	179	240	101	116
(2.9%)	(1.0%)	(0.5%)	(3.1%)	(1.1%)	(0.7%)	(7.4%)	(2.8%)	(2.5%)	(9.8%)	(3.0%)	(3.1%)	(4.7%)	(2.3%)	(2.0%)	(3.5%)	(2.3%)	(1.9%)	(11.8%)	(6.6%)	(7.6%)	(10.2%)	(4.3%)	(4.9%)

※ウェイトバックによる補正を行っているため、補正後サンプル数に小数が発生していますが、四捨五入して整数表記をしています。そのため、サンプル数の合計と誤差が生じておりますが、ご了承ください。
人口構成比算出元データ 令和2年国勢調査結果（総務省統計局）より

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ： <https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート： <https://www.recruit.co.jp/>